

総社市庁舎建設基本設計(案)へのご意見募集(パブリックコメント)の結果について

1 募集期間

令和3年6月4日(金)から令和3年6月23日(水)まで

2 意見提出者数及び件数

- ・提出者 6名
- ・提出件数 47件

3 意見の内容

項目	件数	意見の要旨等	市の考え方	
配置計画 (駐車場・駐輪場)	11件	<p>●現在脱炭素社会が話題となり電気自動車の普及を見据えることが必要かと感じています。EV車やPHEV車の普及が伸び悩んでいる1番の原因は「充電スタンドの少なさ」であると言えます。</p> <p>総社市内では電気自動車用の充電スタンドは「主に車販売店やリブ21」と非常に少なく、スタンドも1箇所につき1台と同時に数台の充電ができないことが多くあります。</p> <p>これからの社会を見据えるためにも新庁舎には「電気自動車の充電スタンドの設置」をお願いしたいと思います。</p> <p>また岡山県内の他市の庁舎ではスタンドが「1台だけ」でありますので、1台だけの設置ではなく複数台あり、庁舎で用事がある際に、訪れる際に、ついでに充電ができるようになれば総社市内でも電気自動車の普及をより推し進め、県内随一の脱炭素社会を目指す足がかりになっていけることとなると考えます。</p>	<p>今後、電気自動車等の普及が進むことを見据えて、充電スタンドを設置した電気自動車用駐車スペースを計画しています。また、将来の拡充を考慮し、電源ルートを確認する計画とします。</p> <p>また、駐車場屋根等の太陽光パネルの設置については、環境配慮の視点から有効とは考えますが、コスト面など含め必要性を検討していきます。</p>	
		<p>●電気自動車の普及に合わせて充電スペース、ソーラーカーポートの設置は時代に合ったものとなっているのかを懸念している。最初から新設しないのであれば、追加工事ができる準備はあるのでしょうか。</p>		
		<p>●防災、環境配慮の視点から、EV充電器の設置、障害者用駐車場や駐輪場屋根等への太陽光パネルの設置も有効です。</p>		
		<p>●駐車場は広くスペースを確保しているが、最近では3ナンバーが増えており駐車枠の幅にも余裕を持たせてほしい。</p>		<p>新たな駐車場については現在の標準的な寸法で計画しています。</p>
		<p>●不正駐車を抑止し、安全・安心な空間として駐車場を利用できるよう、適正な管理をすることを目的に、ゲートや精算機等を設置することを検討ください。</p>		<p>現計画ではゲート等の設置は計画していません。しかしながら、ご意見のとおり適正管理の観点から駐車場の管理を含め、今後の実施設計のなかで駐車場計画を検討していきます。</p>
		<p>●駐車場に設置する機器類、駐車場の設計については、感染症対策を考慮することを提案します。特に精算機等については、非接触型決済の導入を提案します。</p>		

		<p>●駐車場の混雑緩和を防ぐため、出入口に満空看板の設置を検討ください。</p>	<p>駐車場整備完了後の利用状況を見ながら検討していきます。</p>
		<p>●駐車場をイベント会場や災害時の基地として活用できるよう、多目的に利用できる設計にすることを検討ください。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、今後の実施設計のなかで駐車場計画を検討していきます。</p>
		<p>●移動の効率性、利便性向上のため、市庁舎駐車場にカーシェア車両を配置し、行政、市民、来訪者が共有できるようにすることを提案します。なお、公用車をカーシェアに置き換えることで、公用車の所有台数や駐車場確保スペースを減台することも可能となり、財政的な視点からも有効な取組になります。</p>	<p>市役所の駐車場を拠点とするカーシェアリングは、実施している事例などの現状を調査研究し、本市の交通戦略を鑑み将来的に実施の可否を含め、今後において検討は必要ではないかと考えています。</p>
		<p>●駐車場として適切に利用されるようにすべく、適切な受益者負担（来庁者が無料、その他は有料など）を設計することを提案します。なお、適切な受益者負担を徴取することで、総社市のアセットの有効活用につながります。</p>	<p>ご提案につきましては、現在のところ計画していません。</p>
		<p>●屋根付きの駐輪場は充実しているが、最近増えているロードバイク用の駐輪場所も確保してほしい。</p>	<p>駐輪場へは一部サイクルスタンドを設置する計画であることから、スタンドを取付けでないロードバイクでも駐輪可能と考えています。</p>
平面計画	5件	<p>●移動観覧席は使用頻度の割には日常のメンテが大変で、未使用時には収納スペースが必要となることから、今後長期的には維持管理にコストを要する。フラットな空間とした方が利用の幅が広がるのではないかと。</p>	<p>多目的ホールについては、講演会、健康診断、選挙会場、展示会場等、様々な活用を想定していることから、観覧席についても階段式（移動観覧席）とパイプ椅子がメインとなるフラットなタイプのどちらでも対応することで、様々なシーンに対応できるよう計画しています。</p>
		<p>●市民活動の場として、夜間を含め会議室などが使用できるようお願いします。</p>	<p>セキュリティの問題もあり上層階の会議室の利用については難しいと考えていますが、多目的ホール、ギャラリースペースも含めて、今後、新庁舎の供用開始までに市民活動の支援の場所となるよう庁舎の運用方法を検討していきます。</p>
		<p>●高齢者、障がい者、妊婦の方などが利用する課（市民課、長寿介護、社協、こども課・こども夢づくり課など）は1階に配置することを望む。もし違う計画となる場合は、根拠を明確にしてほしい。</p>	<p>市庁舎の低層階（1～2階）については市民利用の多い部署を配置する計画としておりますが、社会福祉協議会については2階への配置と計画しています。</p>
		<p>●ベンチだけでなく、机・椅子があり、気軽に会話や打ち合わせができる、市民が使えるフリースペースを設けてはどうだろうか。市民の使いやすさはハードとソフトの両方が必要だと感じる。西粟倉村役場では、ホワイトボードが設置され、会議だけでなく気軽な打ち合わせができる場となっている。市役所と市民の物理的・心理的距離を近づけるアイデアを取り入れてほしい。</p>	<p>ご提案のとおり、多目的ホール、ギャラリースペース、イートインスペース等では市民が気軽に立ち寄れる雰囲気を出すため、室内のしつらえや机・椅子等の什器備品の配置計画を検討していきます。</p>
		<p>●全体的に密集度が高いように見える。利用方法をすべて決めてしまわず、余裕のある空間利用を考えてはどうだろうか。時代の変化や、民間との協働などの余地を作ることはいらないだろうか。</p>	<p>執務スペースは将来的なレイアウト変更にも柔軟に対応できるよう壁のないフレキシブルなつくりとしています。また、多目的ホール、ギャラリースペースなどの1階部分については柔軟な利用を検討していきます。</p>

立面計画	1件	●7階の展望台について、必要性を検討したい。どんな時、どんな用途で使うつもりなのか。またそれが本当に必要なのかの議論がどのように進められたのかを公表していただきたい。なお、不必要となった場合の予算削減の程度も知りたい。	展望部分については、総社市としてのランドマーク・特徴的な外観、親子連れなどにも開放し親しみのある場所、安全に自分の街を眺められる場所などを想定しています。必要かどうかなどのご意見につきましても、費用面を含め、さらに検討していきます。
バリアフリー・ユニバーサルデザイン計画	1件	●認知症の人にもやさしいデザイン(福岡市発行の「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」などを活用し、認知症の人にもわかりやすいサイン計画をお願いしたい。)	認知症の方も含め、障がい者、高齢者、親子連れ、外国人など誰もが分かりやすい、ユニバーサルデザインを取り入れたサイン計画となるよう検討していきます。
防災計画	9件	●国土地理院の治水地形分類図では市役所近隣は河川流路の形跡があり、来る災害に備えて地盤調査及び地盤強化を検討してはどうか。	地質調査については令和2年度に実施しており、建物の基礎とする良好な地盤の探索や大規模地震時に発生することが予想される液状化についても対応を検討しています。
		●災害時でも使いやすいよう、来庁者・公用車駐車場の車止めは設けないようにすべきです。	ご意見も参考にしながら、今後の実施設計のなかで駐車場計画を検討していきます。
		●基本計画では「高梁川氾濫時の浸水対策として、1階床レベルのかさ上げと防潮板を設置します。」となっております。(「総社市ハザードマップ」から、浸水深さは1～2m 床上浸水)1階の床レベル、防災・庁舎の使い易さ・コスト面などから考え、可能な限り高くすべきです。	1階床レベルを高くし過ぎると、敷地周囲との高低差によって高齢者や車椅子利用者等からは利用がしづらくなりますので、ご意見のとおり、使い易さコスト面等を考慮しながら、可能な範囲で床レベルを上げて浸水対策を考えていきます。
		●マウンドアップ対象の建物は庁舎棟と議会棟ですか。	ご意見のとおりです。
		●1階床レベルのかさ上げについて、その高さの根拠は。<浸水想定高さより低い?>	新庁舎は土地のかさ上げと止水板により庁舎内への浸水を防ぐ計画です。浸水想定は、ハザードマップではレベル1の1～2mですが、周辺同一浸水レベルの土地の標高や現市役所の敷地の標高などから計算をし、かさ上げの高さなどを決めていきます。
		●開口部まわりの止水板について、どのタイミングで、どの様にして設置するのか、止水板設置後に庁舎と外部との行き来、どこを通るのか。<高齢者・車椅子利用者など>	止水板の設置については、水害のレベル1相当が起こりうる際に稼働させることとなります。設置方法については、手動式、自動式、電動式の3種類があり、今後、コスト等を含めて検討していきます。 止水板設置後の庁舎と外部との行き来については、緊急時でもあり、人的な対応になるものと考えています。
		●免震層の擁壁の立ち上げについて、その高さの構造は。	コンクリートの擁壁を高さ約70cm立上げる計画としています。
		●100台以上(推測)もある公用車の浸水対策について明確にしておくべきです。	公用車の浸水対策は、今後の公用車管理のなかで対策を検討していきます。
●平成30年7月豪雨では、ペット避難所として西庁舎が機能していた。新庁舎にはペットと一緒に避難できるスペースはあるのでしょうか。	ペット避難者については、新庁舎も含め設置場所を検討していきます。		

環境計画	1件	<p>●エネルギー消費量削減をよく検討したことは理解できた。日本の省エネ基準ではなく、世界基準を取り入れてほしい。SDGsの観点からも2030年に当たり前になっているレベルをこれからしっかり計画している総社市であってほしい。なお、削減がどの程度の効果なのか定量的に示されるよう、一次エネルギー消費量を計算して数値的に示してほしい。</p>	<p>エネルギー消費量削減については、環境にやさしい庁舎を目指し、CO2削減を念頭に設計を進めています。イニシャルコストとランニングコストのバランスも考えながらですが、可能な限り省エネ庁舎となるよう検討していきます。</p> <p>一次エネルギー消費量の算定については実施設計のなかで行います。</p>
設備計画	9件	<p>●電力引込：2系統(異なる変電所)からの引き込み、高圧電源車の接続用引込口を設置。</p>	<p>電力引込の2系統化は立地条件的に困難でありますので、災害時対応としては十分な容量の電力を供給できる非常用発電設備の設置で計画していきます。</p>
		<p>●受変電設備：静止型保護継電器の採用。(地震対策)</p>	<p>ご意見をいただきました静止型保護継電器の採用で計画していきます。</p>
		<p>●非常用発電設備：燃料系統の二重化(ポンプ駆動、電気と機械式)、機器などの防水対策。</p>	<p>燃料ポンプは非常用発電設備から電源供給される仕様とし、2台の併用運転とすることで停電時や不慮の事故時においても非常用発電機への供給が途絶えることのない設備構成となるよう検討していきます。</p>
		<p>●発電機は化石燃料を利用したもので良いのでしょうか。また災害時などの72時間のためでなく、日常的な活用の検討はしないのでしょうか。性能の良い蓄電池と太陽光発電の両活用で、環境負荷・コスト削減で優れているという考えはあるのでしょうか。もし検討したのであれば、考察結果を知りたい。</p>	<p>常用・非常用の兼用発電機はイニシャルコストやメンテナンスコストが大きいので、非常用発電機で計画しています。</p> <p>また、太陽光発電と蓄電設備の併用は新庁舎が非常時に必要とする電力を補うには膨大な量の太陽光パネル及び蓄電設備が必要となりイニシャルコスト・運用面で不利となることから採用していません。</p>
		<p>●太陽光発電設備：蓄電池の設置。</p>	<p>蓄電設備については、多くの負荷を利用すると短時間で蓄電量を消費してしまうデメリットがあるため設置の計画はしていません。</p>
		<p>●総合福祉(保健)センターの太陽光パネル移設で、新庁舎の電力を補えるのかが心配である。新設や買電などを検討しているのだろうか。検討の過程も含めて考えていただきたい。</p>	<p>太陽光発電設備による電力供給では新庁舎の膨大な電力を補うことは困難と考えています。また、市庁舎という施設の性格上、常に安定した電力供給が必要となり、天候に左右される太陽光発電では限界があります。</p> <p>太陽光発電設備による電力は、市役所業務の中核からは切り離し、万が一電力供給不可となった場合でも問題のない部分で使用することを検討していきます。</p>
		<p>●コンセント設備：非常時に使用できるコンセント差込口の色別表示。</p>	<p>ご提案のとおり、非常用発電設備のコンセントは色分け等が可能な仕様となるよう検討していきます。</p>
		<p>●弱電設備：光ケーブルの二重化。</p>	<p>ご提案のとおり、災害時の通信手段の確保として、複数系統の引込を検討していきます。</p>
<p>●給水設備：給水車の接続口を設置(受水槽用)、機器などの防水対策。</p>	<p>受水槽の容量については、災害時でも防災拠点としての機能確保を前提に4日分の容量を確保する計画としているため、現在のところ給水車からの直接給水は計画していません。ご提案については、費用面・技術面・運用面を含め、実施設計のなかで検討していきます。</p>		

その他	10件	<p>●市民や職員の意見が反映されており、また、水害時も想定された配置となっており、全体的に良い計画だと感じた。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
		<p>●立派な建物になることはとても嬉しいが、建築費などどのように税金が使われているのかを公表してほしい。また何を参考にどのような段階を経て予算を検討したのかを市民に公表してほしい。立派な建物ではなく、市民は適正な予算で建設された建物を望んでいます。</p>	<p>建築費の予算は、基本構想において他自治体の実績を基に算出しています。その後基本計画、基本設計と各段階で概算工事費を算出し、基本構想で算出した予算との整合を確認しています。 適正な規模、予算で総社らしい市庁舎を目指し、実施設計においても検討を進めていきます。</p>
		<p>●旧庁舎を取り壊した後の廃材は、どうする予定なのかを懸念している。大量の廃材が出る市庁舎取り壊しによる環境負荷についてどのように考えられているか公表していただきたい。またより良い方法を示してほしい。</p>	<p>旧庁舎の解体だけではなく公共事業では解体部材の再資源化を図るため、解体部材は再生処理施設への投入を設計で計画しています。</p>
		<p>●新庁舎も50年継続して使うことを見越しての設計・計画、実施を望んでいる。人口減少、テクノロジーの発展を考慮に入れた未来志向の設計となっているのだろうか。またそのための考察はどんなデータや専門家の相談をしたのだろうか。</p>	<p>建物は可能な限りフレキシブルに計画しています。OAフロアや乾式壁(コンクリート壁と違い撤去新設が容易)の採用、ゆとりのある設備スペース等により、将来のレイアウト変更にも柔軟に対応が可能となるよう計画しています。</p>
		<p>●コンセプトの公表後、具体案が1案しか出てこない、市民は意見を述べにくい。これから長く使っていく、また子どもたちに残していくものだからこそ、よく話し合えるように複数案の提示を求める。</p>	<p>市民のみなさまからはワークショップなどを通じて、計画、設計の段階から意見をいただきながら、案を作成しています。</p>
		<p>●パブリックコメントによって、現在の案についてさらなる検討が行われると感じている。次に提示される実施設計についてのパブリックコメントはもう行わない予定だろうか。</p>	<p>実施設計については基本設計をもとに設計しますので、パブリックコメントの実施は予定していません。</p>
		<p>●サイクリストやランナー、散歩する人等、昼夜問わず、市役所周辺には多くの人が行き来しているので屋外トイレを充実させてほしい。周辺には綺麗な屋外トイレが少ない。</p>	<p>現計画では、使用頻度や防犯、設置スペースなどの関係で設置していませんが、今後、実施設計のなかで必要性も含めて検討していきます。</p>
	<p>●新庁舎には喫煙室や喫煙スペースが設置されていないとお見受けします。現在の条例では庁舎関係は敷地内完全禁煙となっているかと思われませんが、現に岡山市では市役所に喫煙スペースがなく、近隣の公園で喫煙をするという事例があり、私も出会ったことがあり、その光景があまりにもその後、庁舎内に喫煙室を設置したとありました。 現在の新庁舎のままですと、入り口付近、駐車場、野外のスペース、屋上庭園等が来庁者、職員、業者、議員の方の喫煙場所となるかと思われます。 総社市が健康増進を推し進めている反面、受動喫煙等に対しての規制が甘く感じます。 新庁舎の入り口周辺や屋外で喫煙をされ、来庁される方、子供たちへの健康を害することがないように、初めから喫煙スペースを設置を来庁される方、近隣の受動喫煙がないような場所の設置をお願いしたいと思います。</p>	<p>喫煙室は庁舎屋内には計画しておりませんが、受動喫煙の恐れが少ないと考えられる庁舎の周囲(屋外)または7階屋上に喫煙スペースを設置する方向で検討していきます。</p>	

<p>●植栽、特に中高木の選定に際しては10～20年度を見据えて、幹が太くならない、管理が楽なものにしてはどうか。排水管の根詰まりの原因にもなりやすいので事前に想定しておいた方が良い。</p>	<p>植栽計画については、維持管理面も含めて樹種等の選定を検討していきます。</p>
<p>●長期修繕の観点から、外壁補修の際等、足場を組む余地を外周に残しているのか。各フロアはバルコニーにしているので、窓ガラス清掃や定期的なメンテナンスは行いやすいと思う。</p>	<p>基本的には各階に設置したバルコニーを利用してメンテナンスを行う計画としています。 また、建物周囲には一定の空地がありますので足場を設置しての修繕も対応可能と考えています。</p>